

ブレインバンクに検体を寄付された方のご家族皆様へ  
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	ヒト死後固定脳および凍結脳のオートラジオグラフィーならびに組織化学的・生化学的手法を用いた、神経変性型認知症の分子メカニズムを明らかにするための分子マーカーの開発と評価
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 赤津 裕泰(名古屋市立大学 特任教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 樋口 真人
本研究の目的	ヒトの死後脳の特定期域についてオートラジオグラフィーや免疫組織化学的・生化学的方法により解析し、アルツハイマー病をはじめとする神経変性型認知症の発症過程におけるアミロイドおよびタウ蓄積ならびに他の分子メカニズムを明らかにする分子マーカーの開発と評価を行う。
対象者該当期間	2014年10月3日～2019年3月31日
研究の方法	●対象となる脳サンプルの提供元機関名 東京都健康長寿医療研究センター・脳バンク 医療法人さわらび会福祉村病院・脳バンク 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 ●利用する研究情報・利用方法:年齢、性別、臨床検査所見(MRI画像、PET画像、心理検査結果)
個人情報の取扱い	利用する情報からは、お名前、住所など、その他の個人を直接識別できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報がでることはありません。(国立研究開発法人量子科学技術研究機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	研究責任者はタウ蓄積を画像化する化合物の特許を有しており、当該化合物による神経変性型認知症の診断法、治療法の開発を目指して研究を進めています。